

第11回 江山地区義務教育学校設立準備委員会

令和元年10月23日(水) 19:00

鳥取市立美和小学校 2階 多目的ホール

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

(1) 2部会の検討状況について

- ・教育環境整備部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
- ・江山の宝応援部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

(2) 長寿命化改修・増築校舎について・・・・・・・・・・別紙1

(3) 学校備品（校名・校章関係）について・・・・・・・・・・別紙2

(4) 校章デザイン入選者への副賞について・・・・・・・・・・別紙3

(5) 中間報告会について

4 議 事

(1) 校歌歌詞の選考方法について・・・・・・・・・・資料3

(2) 校歌歌詞の選定について

(3) 校歌作曲者について・・・・・・・・・・別紙4

(4) 校章について・・・・・・・・・・別紙5

(5) 広報紙の内容について・・・・・・・・・・資料4

(6) その他

5 その他

6 閉 会

江山地区義務教育学校設立準備委員会委員名簿

区分	役職等	氏名	部会	備考	
1	地域代表	神戸地区区長会推薦	栗本 保夫	教育環境整備部会	委員長
2	地域代表	美穂地区区長会推薦	松本 広幸	教育環境整備部会	
3	地域代表	大和地区区長会推薦	中村 徹	江山の宝応援部会	
4	保護者代表	美和保育園保護者会	森田 匡隆	教育環境整備部会	
5	保護者代表	美和保育園保護者会	森下 将伍	江山の宝応援部会	
6	保護者代表	神戸小学校PTA会長	山本 賢璋	江山の宝応援部会	部会長
7	保護者代表	神戸小学校PTA副会長	坂本 訓子	教育環境整備部会	
8	保護者代表	神戸小学校PTA	牛尾 早知	教育環境整備部会	
9	保護者代表	美和小学校PTA会長	上田 光徳	教育環境整備部会	副委員長、部会長
10	保護者代表	美和小学校PTA副会長	有田 京子	江山の宝応援部会	
11	保護者代表	美和小学校PTA	前田 真琴	江山の宝応援部会	
12	保護者代表	江山中学校PTA会長	谷口 範仁	江山の宝応援部会	
13	保護者代表	江山中学校PTA副会長	石尾 万紀子	江山の宝応援部会	
14	保護者代表	江山中学校PTA	山本 敏夫	教育環境整備部会	
15	保育園代表	美和保育園園長	鈴木 知加	教育環境整備部会	
16	保育園代表	美和保育園副園長	太田 信子	江山の宝応援部会	
17	学校代表	神戸小学校校長	山根 啓嗣	江山の宝応援部会	副部会長
18	学校代表	神戸小学校教頭	梶浦 紀生	教育環境整備部会	
19	学校代表	神戸小学校教務主任	小谷 直和	(小中連携委員会)	
20	学校代表	美和小学校校長	安田 政彦	教育環境整備部会	副部会長
21	学校代表	美和小学校教頭	山口 尚子	江山の宝応援部会	
22	学校代表	美和小学校教務主任	田村 薫	(小中連携委員会)	
23	学校代表	江山中学校校長	橋本 伸一	教育環境整備部会	
24	学校代表	江山中学校教頭	長谷川 理恵	江山の宝応援部会	
25	学校代表	江山中学校教務主任	安木 良	(小中連携委員会)	

(事務局) 市教委事務局次長兼教育総務課校区審議室長 中村 隆弘

市教委事務局学校教育課参事 田中 浩史

市教委事務局教育総務課校区審議室主幹 竹田 潤

市教委事務局学校教育課主幹 福田 美奈

市教委事務局教育総務課校区審議室主任 大坪 宗臣

第 10 回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について

1 日 時 令和元年 10 月 15 日（火） 19 時 ～ 20 時 30 分

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員 10 名
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員 2 名

4 報 告**(1) 長寿命化改修・増築校舎について**

部会長より、9 月の準備委員会で要望のあった項目を含めて、学校と設計協議が行われた後の図面について下記のとおり報告を受けました。

- ・エレベーターホールのレイアウトを工夫して、増築棟を校舎側に寄せて、プレゼンルームや特別教室棟の面積を拡張した。
- ・エレベーターホールと増築棟の間に緊急車両等が通るのに十分な広さを確保した。
- ・学校の意向を踏まえ、エレベーターホール棟に多目的トイレを各階に配置し、倉庫又は相談室を各階に配置した。

このことを踏まえて、部会として、図面のとおり準備委員会に報告することとしました。

(2) 学校備品（校名・校章関係について）

美和小校長より、校名・校章等の変更に伴い、取替が必要な学校備品について報告がありました。今後、このような備品取替に向けて、市の新設学校支援のための補助金を活用して開校に間に合うように早めに着手することも併せて報告されました。

5 議 事**(1) 校歌歌詞選考の方法について**

部会長より、校歌歌詞の選考方法について提案がありました。部会開催日に応募を締め切ったところ、予想を上回る多数の応募があったことから、この場で一次選考することが難しいため、準備委員会において全作品を対象にした選考を行い、決定していくこととしました。

なお、江山の宝応援部会の委員には、準備委員会までに全作品を届け、事前に目を通していただくこととしました。

(2) 校歌歌詞の選考について

議事（1）のとおり、準備委員会で選考を行うこととしました。

(3) 校歌作曲者について

部会長より、候補者について提案があり、部会として、その候補者を準備委員会に提案することとしました。

(4) 校章について

前回の準備委員会で、校章を決定しましたが、デザインについて様々な意見が出ました。そうした意見を踏まえ、部会長より、準備委員会としての校章に込められた思いを文章にしてはどうかと提案がありました。その文章について、準備委員会に提案することとしました。

また、作品について、一部補作してはどうかといった意見があり、作者に協力を仰ぎ、可能であれば補作していただき、準備委員会で比較検討することとしました。

(5) 校章デザイン入選者への副賞について

前回の準備委員会において、校章デザイン入選者への副賞の内容について部会に一任されました。これを受けて、部会において協議を行い決定しました。

6 その他

- ・次回の部会日程については、準備委員会の検討結果を踏まえて決定することとしました。

第9回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（江山の宝応援部会）概要について

1 日 時 令和元年10月17日（木） 19時 ～ 20時30分

2 会 場 大和地区公民館

3 出席者 【委員】江山の宝応援部会員11名
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員2名

4 議 事**（1）広報紙の内容について**

○「江山の明日」10月号のテーマについて協議を行いました。夢イベントの内容を加えること、12月8日の「中間報告会」をもう少しアピールしたほうがよいことなどを話し合い、原稿を次回準備委員会で確定させた後、発行することとしました。

（2）学校応援組織について

今後の具体的な動きについて、検討するため、前回の復習を兼ねて、鳥取市の方向性について、事務局の説明を聞きました。

【事務局より説明】

- 運営協議会委員は校長をトップとして学校が組織する。
- 運営協議会と両輪となる「地域学校協働本部」を設置する動きが広がっている。
- 「地域学校共同活動」のひとつとして「学校応援組織」がある。
- 前回、お伝えしたコーディネーターを置くと、より活動が円滑になる。
- 強制力が働くような組織でなくゆるやかなネットワークが望ましい。

【協議】

学校応援組織については、3校が一緒になるので、それをつなげるようなゆるやかなネットワークづくりが必要であることを全員で確認しました。そのあと、現在の美和小、神戸小、江山中に関わってくださっているボランティア組織を紹介していただきました。

美和小では、自発的にやっていた組織が多い、神戸小では、統合を機に活動を解散しようという動きがでて、江山中では役に立ちたいという思いは強いが、来年以降どうしたらよいか分からないといった声が出ていることが報告されました。委員から、なくなるボランティア組織があるというのは非常に残念である、学校がこんな教育がしたい、だからこそこのようなボランティア組織が必要ということを強くアピールすることが必要、といった意見が出ました。

部会長より、公民館長や各組織の長を集めて、一度会議をしてみる必要があることや、現在の状況であるからこそ、3校をつなぐ学校応援組織をつくる必要があることが確認されました。

【今後の進め方】

次回準備委員会で以下のことについて了解を得ることを確認しました。

- ・江山学園の学校応援団をつくる（名称は後日）
- ・組織についての説明会を行う（12月8日に時間がもらえるか確認）
- ・設立総会を行う（時期は学校につくられる運営協議会に諮る）

5 その他

- ・次回の部会は今後の進捗を見て検討することとしました。

校歌歌詞選考方法(案)

【1回目の投票について】

応募24作品から、全委員25名により委員1名につき、3作品を選ぶ。

その際、委員の考えを、結果により反映させるため、次のとおり傾斜配点を行うこととする。

<傾斜配点>

第一候補…3点、第二候補…2点、第三候補…1点 とする

(投票用紙見本)

	第一候補(3点)	第二候補(2点)	第三候補(1点)
番 号			

※投票は無記名で行う。

投票終了後、事務局が投票用紙を回収し、その場で集計し、順位及び得点結果を公表する。

【2回目の投票について】

1回目の投票結果の上位3作品について、2回目の投票を行い、順位を決定する。全委員25名により委員1名につき、1作品を選ぶ。

ただし、下記(例)のような場合には、協議により、2回目の投票の対象として適宜加えることができるものとする。

(例) 1回目の投票結果で第3位と第4位以下の校歌歌詞の点数が拮抗している場合

1位 ○○(20点)

2位 △△(19点)

3位 □□(18点)←原則としてここまでを対象に2回目の投票を行う。

4位 ●●(17点)←ここを2回目の投票対象とするか協議を行う。

5位 ▲▲(15点)←ここを2回目の投票対象とするか協議を行う。

6位 ■■(7点)

⋮

⋮

(投票用紙見本)

番 号	
-----	--

※投票は無記名で行う。

【校歌歌詞の最終決定について】

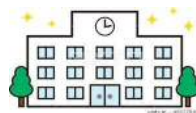
2回目の投票終了後、事務局が投票用紙を回収し、その場で集計し、順位及び得票結果を公表し、この結果をもって江山地区義務教育学校設立準備委員会の最終決定とする。

ただし、1位の点数が過半数に満たない場合は、1位と2位の間で決選投票を行い、決定する。

【その他】

・採用作品(最優秀賞)以外の入選(優秀賞)作品については、別途協議の上、決定する。

江山の明日



第

7

号

令和元年10月

～義務教育学校設立準備委員会ニュース～

来年が待ち遠しいな

～交流学習が行われています～

江山学園開校に向け、小中3校で連携した様々な交流学習が展開されています。交流学習を通じて、お互いの地域のよさを知ることにもねらいとしています。写真(右)は、9月に1, 2年生が2校合同で、砂見川で川遊びをしている様子です。



写真(左)は、10月に美和小学校の3年生と、神戸小学校の3年生が合同で社会見学をしている様子です。この日はスーパーの見学以外にも、美和小の児童が神戸小の児童に校区の案内をしたそうです。また、小中連携した「夢イベント講演会」として、大江ノ郷自然牧場取締役の小原良庸氏をお招きし、「地域に根ざす6次産業」と題して、自分のやり方・夢を追求する大切さなどについてお話をいただき、志を高く持ちたいと考えた子どもたちも多かったようです。

来年には同じ教室で机を並べて学習する子どもたちが、今から仲良くすることやお互いのよさを知ること、令和2年度に素晴らしいスタートを切ることができると思います。

開校に向けて着々と ～校名と校章案の応募ありがとうございました～

校名については、既にお伝えしています通り、「江山学園」に決定しました。採用者全員に副賞として、校名入りのボールペンと図書カードを贈りました。

校章については、県内から30点、県外からも8点の応募があり準備委員会で審査し、決定しました。新しい校章デザインは、中間報告会で発表する予定です。

来たる12月8日(日) 中間報告会を開催します

地域の皆様、総出でご参加ください!!



いよいよ、開校まで半年を切り、新しい学校「江山学園」の施設や教育課程など、様々なことが決まってきました。保護者の方はもとより、地域の方にも学校運営に参画いただく「コミュニティ・スクール」となります。そこで、どのような学校が誕生するかを知っていただくための会を江山地区義務教育学校設立準備委員会主催で開催します。是非ともご参加ください。

日時 令和元年12月8日(日) 13:30～15:30(予定)

場所 鳥取市立美和小学校 2階 多目的ホール

- 内容
- ・義務教育学校(9年制の学校)についての説明(鳥取市教育委員会)
 - ・講演会 島根大学 特任教授 木下 公明 氏
 - ・校章発表、表彰
 - ・各部会からの報告

教育環境部会 校舎の基本設計、校歌 等

江山の宝部会 制服、学校応援組織 等

小中一貫教育振興会 教育課程、特設の教科 等

備考 江山地区の住民の方々、入学予定の保護者の方々、新しい学校に興味をお持ちの方など、全ての方にお越しいただけます。申し込み等不要ですので、ぜひお越しください。





今回は、コミュニティ・スクールの3つの機能として、

- ①校長が作成する学校運営(教育課程・組織編制・施設管理)の基本方針を承認する。(必須)
- ②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる。(任意)
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項に関して、教育委員会に意見を述べることができる。



について、紹介しました。今回は、①について少し考えてみたいと思います。

②③が「任意」であるのに対して①は必須であるので、①がこの仕組みで一番大切な機能です。

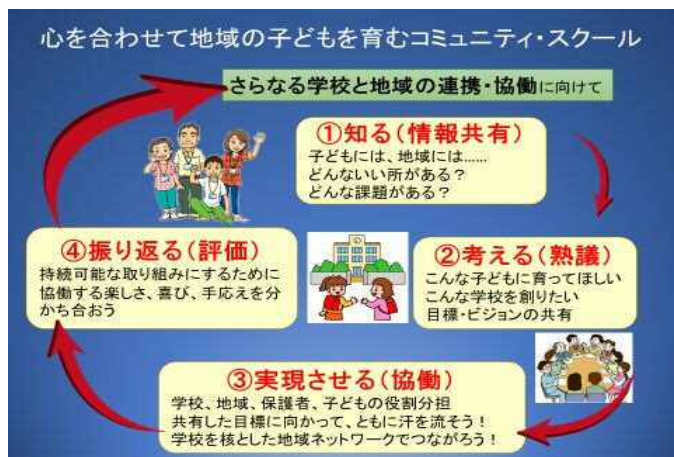
教育課程とは、教育内容を学習段階に応じて系統的に配列したもの、つまり各学年の授業内容や授業時数、行事等の計画で、学校の根幹をなすものです。

組織編制とは、担任や教科担当等を割り当てることで、学校教育課程を効果的に実現するために考えられます。

施設管理は文字のとおりで、安全に学校生活をおくるために各部屋や施設に管理者を割り当てることです。

各委員には、学校運営の基本方針を承認するという大きな役割がありますので、今まで以上に学校のことや、社会から求められている子ども像について知る必要があります。特に、江山学園のように義務教育学校で行われる特別の教科については、内容や進め方について校長の方針をしっかりと聞き、学校を応援するという立場で、承認(あるいは不承認)を行う必要があります。また、委員は、学校教育目標についても変更を申し出ることができます。今まで以上に、ビジョンや責任を共有する仕組みであると言えます。

江山学園の学校教育目標は固まりつつあると思いますが、上に述べた通り、コミュニティ・スクールになると改めて運営協議会の承認が必要となります。これにより、「地域とともにある学校づくり」に向けて一歩踏み出せます。



第2回進捗報告会を実施しました

7月2日(火)美穂地区公民館、7月16日(火)大和地区公民館、7月22日(月)神戸地区公民館それぞれにおいて、準備委員会での決定事項や現在話し合われている内容についてお伝えする「進捗報告会」を開催しました。3つの会には、各地区の区長さん等、延べ80名が出席くださいました。お忙しい中のご出席、ありがとうございました。

仮設校舎の位置についてのご意見や、新しい学校には地域で共用できるスペースがあるといいなどの意見をいただきました。また、「子どもたちが自慢できるような、いい学校づくりにがんばってほしい」という励ましもいただきました。全ての意見を盛り込むことは難しいですが限られた時間の中で子供たちに本当に何が必要かを議論し、開校を迎えたいと思います。



発行: 江山地区義務教育学校設立準備委員会
事務局: 鳥取市教育委員会事務局校区審議室
TEL:(0857)20-3089
:(0857)30-8405(11月4日より)